

新年明けましておめでとうございます。

会員皆様方には、日頃より、法人会活動に対しまして、ご理解、ご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

さて、改めて申すまでもございませんが、昨年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月から緊急事態宣言が発令

され、解除後、政府が景気対策として発動した「GoToトラベル」の効果もあり、観光産業が持ち直してきた矢先、更なる感染拡大によって年末年始のキャンペーンが全面的に停止になるなど、1年を通じて新型コロナウイルスに翻弄され、地域としても、経営者としても、正に受難の年でございました。

法人会と致しましても、年度当初より、各総会、セミナー等、会員皆様にご集って頂く事業が次々と中止になり、会活動の停滞が余儀なくされましたが、「コロナに負けるな!」掲示板」を開設。SNSを通じての情報発信を心がけた結果、一般の方を含めた多くの皆さまにご支持を頂きました。

秋口からは、一歩でも前進致したく、税キング、伊豆下田税務大学など、規模縮小の上、出来る範囲での活動を少しずつ進めて参りました。

本年もまだまだ不透明な先行きではございますが、良き経営者の団体、税のオピニオンリーダーの自覚の下に、少しでも皆様に寄り添った会運営を心がけて参りたいと存じます。

どうぞ、今年も、法人会活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会長

吉澤 昭



税務署長

相澤 秀志

令和三年の年頭に当たり、一般社団法人伊豆下田法人会の皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、平素から税務行政につきまして深い御理解と格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響による自粛要請や緊急事態宣言の発出等が行われ、様々な局面で異例の対応を強いられる年となりました。今後も感染症拡大防止等のため、これまでにないきめ細やかな対応が求められるものと考えておりますが、例年以上に、丁寧に御意見を伺い、十分に対応を協議

させていただく所存ですので、一層の御理解御協力をお願い申し上げます。

貴会におかれましては、「会員から共感を、社会と共生を」の理念のもと本会・支部・部会が一体となり、常に地域に密着した様々な活動を活発に実践してられました。

地域社会のあらゆる世代を対象とした活動は、毎年多くの成果を挙げており、コロナ禍でも感染対策を徹底したうえで「税キング」や「伊豆下田税務大学」の開催など、大好評かつ成功裏に遂行されました。大変な御苦労があったと思われませんが、吉澤会長ほか役員をはじめ、御苦労いただいた会員の方々には心から敬意を表する次第であります。

このような中で、新しく迎える年が、会員の皆様にとって希望の多い充実した年となりますことを祈念いたしますとともに、貴法人会が引き続き魅力ある事業活動を展開され、会員企業と地域社会の発展に一層の貢献をされますことを御期待申し上げます。

さて、税務行政を取り巻く環境は、経済活動のICT化やグローバル化などにより大きく変化しております。このような状況の下、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という私どもに課された使命を果たすためには、「納税者の利便性の向上」と「課税・徴収の効率化・高度化」を二本柱とする税務行政のスマート化を目指す必要があります。その実現に向けて、申告・納付のデジタル化の推進等に取り組んでいるところではありますが、これらの取組を成し得るためには、e-Taxやマイナンバー制度の普及・定着が必要であり、法人会の皆様の御協力が不可欠であると考えております。

また、昨年は、多くの企業の方にとって、軽減税率制度実施後の初めての確定申告となりましたが、概ね円滑に行っていただくことができたと考えており、法人会の皆様が、説明会の開催や制度の周知・広報活動など幅広く御協力をいただきましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後は更に、軽減税率制度の定着・インボイス制度の円滑な導入に向けて取り組んでいくこととしておりますので、引き続き、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、一般社団法人伊豆下田法人会の更なる御発展と、会員の皆様の御健勝並びに事業のますますの御繁栄を祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。